平成	30年月	医事務事	業実	續評価	西表							
1事	業概要	更						課名	地域計画課	事業No.	248	
								会計	一般会計			
	事務	事業名		内水	排除整備事業	¥	L	事業区分	政策	実施区分	継続	
								開始	H12	終了		
	主要区分		主	記号	計画等名称							
		戦略計画										
	¥											
l												
根	分野別計画			松尾地区内	水排除緊急時対応計画							
拠			囲									
	法令・例規等		200									
Ī	事業目			象	松尾地区の	水害が想定される区域						
=	#未口	意図		図	生命と財産を守る							
2事	業内額	容										
						組内容			経費の内容	事業費(千円)		
						竜水開発組合、地元企業等によ		需用費 (消耗品費、燃料費、修繕料)			1,168	
						技量向上と関係団体との連携を		役務費(通信費、手数料、保険料) 委託料(施設設備設置 訓練止水板設置)			241	
		目的とした2回の排水訓練を実施しました。また、定期的な						料(施設設	288			
		資機材の点検と必要箇所の修繕を行い、稼働に備えた取り組 みを行いました。						金(クレー	53			
306	丰度		_	-	1なに トフ の	回(7月と10月)の出動があり	公課	費(自動車)	重量税)		137	
	組			一口四	4年による 2	四 (1月C10月) の出動があり						
"		ました。										
							1				1	

_ 2 事業内容												
	取組内容 経費の内容											
	内水排	除の体制は、国際的体制は、国際の体制は、国際の体制は、国際の体制は、国際の体制は、国際の体制は、国際の体制は、国际、国际、国际、国际、国际、国际、国际、国际、国际、国际、国际、国际、国际、	職員、竜水開発組合	争によ	需用費(消耗品費、燃料費、修繕料)					1,168		
	り確立さ	れており、操作	作員の技量向上と関	係団体との連	直携を	役務費 (通信費、手数料、保険料)					241	
	目的とし	た2回の排水	訓練を実施しました	:。また、定其	月的な	委託料	(施設設備設置	訓練止水板設	}置)		288	
	資機材の	点検と必要箇	听の修繕を行い、 移	家働に備えた耳	双り組		(クレーン機械		53			
0.045	みを行い	•				公課費	(自動車重量税	,)			137	
30年度	実際には、台風等による2回(7月と10月)の出動があり											
取組	ました。											
						その他の経費						
	ts	標名 (数値で	主サス活動県)	単位	平成28		平成29年度	平成30年度 令和元年		度	令和2年度	
	18	赤口 (数値で	仅にる/白凱里/	丰田	美	績	実績	実績				
		の実施(4、		回/年		3	3	2				
		ンプ車等定期		回/年		12	12	12				
活動指標			輌・機器の法定点検		1 1		1	1				
/口玉//〕日代示	関係機関	との連携		回/年			1	1				
		7 AA DE						7 - *** = -=				
		予算額	2,161	特定財源内訳及び補足事項								
0.045).	決算額 1,887										
30年度		国庫支出金		0								
決算	財源の	県支出金	0									
(千円)	状況	地方債	0									
		その他	0									
		一般財源	1,887									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)	
1	1	8	3	3	12	4	2,161	1,887	内水排除整備事業費	
2										
3										
4										
5										
6										
7										
振返	振返り課題認識 ・ 局部的な豪雨による被害が増加する中で浸水被害を最小限に食い止めるため、安全で迅速な対応ができる体制の維持が必要です。 ・ 定期的な資機材の点検と必要箇所の修繕を行っていますが、経年による老朽化で適切な時期に機材の更新が必要になります。									
上記の課題解決 のための有効策 ・継続した訓練により操作員の技量等の維持・向上に努めます。 ・定期的な点検等を継続し、更新時期の検討を行います。										
次年度に向けて の取り組み ・引き続き、有事の際に対応できる体制の維持と、訓練による操作員の技量向上等に取り組みます。							練による操作員の技量向上等に取り組みます。			